

水でたどる歴史とあゆみ

鍋屋上野浄水場

鍋屋上野浄水場は、本市で最初に造られた浄水場で、明治43年(1910年)5月に建設工事に着手し、大正3年(1914年)3月に完成、同年9月から給水を開始しました。以後数回の拡張を経て現在に至っており、緩速系と急速系の二系統の浄水施設があります。

水源は木曾川の表流水で犬山市内の木曾川左岸で取水された原水は、取水場から鳥居松沈澱池を経て鍋屋上野浄水場に至ります。



創設時の緩速濾過池全景



現在の鍋屋上野浄水場



銘板(縦50cm 横90cm)

左の写真は創設期4号池のろ過井で発見された銘板です。黄土色の表面からは「明治43年8月起工、大正2年8月竣工」の文字とともに、技師長上田敏郎氏など6名の氏名がはっきり読み取れます。現在は「水の歴史資料館」に展示されています。

名古屋市の歴代マンホールのふた

昭和36年(1961年)ごろから採用されました。下水の吹き上げ防止又は防臭対策の必要な幹線に使用するもので、ふたの表面に「水密」と表示してあります。このふたの中に内ふたを設置し、それをゴムパッキンなどで密封状態にすることにより、空気や水が出入りしないようになっています。

水密ふた



水の歴史資料館
HISTORICAL MUSEUM OF WATERWORKS AND SEWERAGE

開館時間：午前9時30分～午後4時30分
休館日：月曜日(休日の場合は直後の平日)
館内展示内容やイベント情報の詳細はHPへ!